

G上屋 個別施設計画

令和3年3月

敦賀市産業経済部商工貿易振興課

目次

1	策定の目的と位置付け.....	1
	（1）目的.....	1
	（2）本計画の位置付け.....	1
2	計画期間と対象施設.....	2
	（1）計画期間.....	2
	（2）対象施設.....	2
3	現状と課題.....	2
4	基本的な考え方.....	3
5	施設の状態.....	3
6	対策内容と費用.....	3

- ・ 本計画は、特に断りがない場合、令和元（2019）年度末時点のデータに基づき作成しています。

1 策定の目的と位置付け

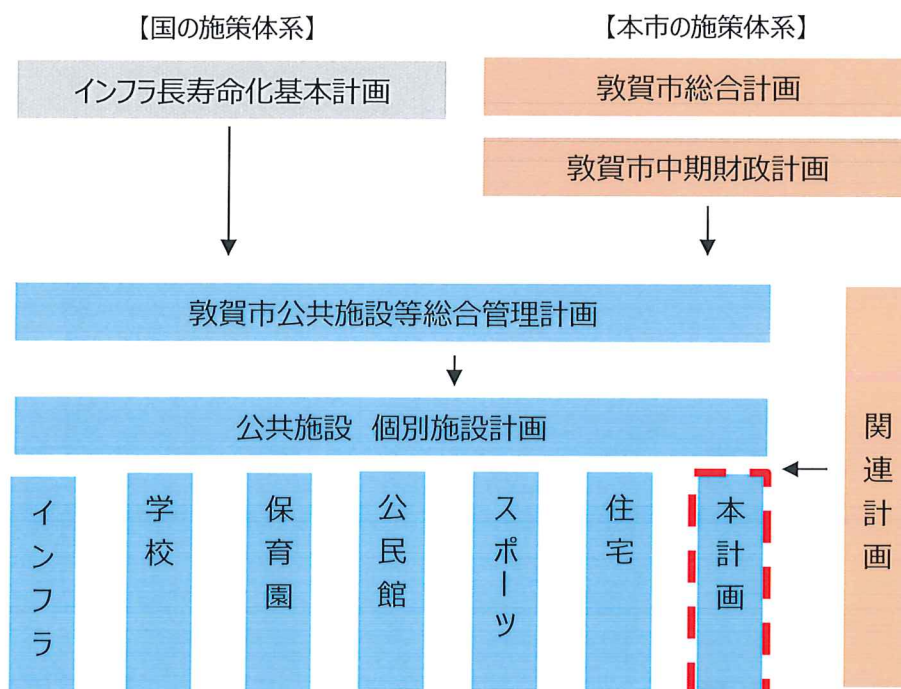
(1) 目的

本計画は、平成29(2017)年1月に策定された敦賀市公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画として、G上屋の管理に関する具体的な対応方針を明らかにすることを目的としています。

(2) 本計画の位置付け

本計画は、敦賀市公共施設等総合管理計画の下位計画となります。

図表1 本計画の位置付け



2 計画期間と対象施設

(1) 計画期間

本計画の計画期間は、令和3（2021）年度から令和4（2022）年度までの2年間とします。

なお、本計画は、敦賀市公共施設等総合管理計画の改訂や社会環境等の変化等を踏まえ、適時見直しを行います。

(2) 対象施設

本計画の対象施設は、G上屋です。

なお、同施設は、敦賀市公共施設等総合管理計画において「産業系施設」に区分されています。

図表2 対象施設概要

施設名	地区	運営形態	延床面積	代表建築年度	耐用年数	経過年	残耐用年数
G上屋	北地区	直営	1,086	1978	31	41	0

3 現状と課題

【現状】

上屋は、荷揚げした貨物や船に積み込む貨物の荷捌きや一時保管を行うための港湾施設です。敦賀港には8棟の上屋があり、そのうちのひとつであるG上屋では、海上コンテナ等にて運ばれてきた合成樹脂等の原材料を主に取扱っています。

【課題】

G上屋が建設されてから40年以上経過しており、施設使用上の不具合が発生した際に最低限の修繕を行い施設の延命を図ってきましたが、壁等に損傷が見られるなど老朽化が著しく進んでいます。

4 基本的な考え方

G上屋を、現状のまま継続して使用した場合には施設で保管する荷物や荷役作業に従事する関係者等への被害が予想されるため、施設機能維持のためには大規模な修繕が必要であり膨大な費用が見込まれることと、現在利用している事業者が代替施設を新たに建設する予定となっていることから、令和4年度末を目途に施設機能を廃止します。

機能廃止後の利活用方針は、関係機関等と協議をして決定することとします。

5 施設の状態

G上屋にて荷役作業に従事する作業員による日々の確認と、定期的に職員の目視点検を行いながら施設状態を確認します。

施設修繕は、機能廃止するまでの期間において、施設使用上の不具合が発生した場合に最低限行い、施設状態を維持します。

6 対策内容と費用

令和4年度までは現状維持とし、令和4年度末を目途に施設機能を廃止します。

なお、機能廃止後の施設の用途は、令和3（2021）年度から関係機関と協議していきます。